

■ 冒険のもり（アスレチック）

ビジターセンターの向かい側の場所に、「冒険のもり」というアスレチック遊具施設があり、大自然の中で遊ぶことができます。

冒険心や探究心をくすぐり、大人も子供も幅広い年齢で楽しむことができる施設の再整備や利用を促進する取り組みが必要となっています。



冒険のもり入口

■遊具施設：遊具 4 基

（複合遊具 2 基、丸太山 1 基、登り棒 1 基）



複合遊具



複合遊具



丸太山

■ 帆柱公園



本多静六博士

皿倉表登山道の入口であり、ケーブルカー山麓駅がある場所として知られています。

本多静六博士によって設計された園内は自然環境に恵まれ、広葉樹林に覆われたなだらかな傾斜地であり、帆柱山系登山口としての遊歩道も整備されているため、市民散策の適地になっています。

野草や昆虫も多く生息しており、多様な学習や野外活動、レクリエーションなどの体験を通して、健全な青少年の育成を図る宿泊研修施設「福岡県立ふれあいの家」が存在します。その隣接する洞見台からの眺望は山頂とはまた違う魅力を楽しめます。

大型連休や紅葉時のシーズンには多数の来訪者により、山麓駅周辺の駐車場が満車になるため、駐車することができずに引き返す車両もあるため、駐車台数の拡大が求められています。また、展望施設や休憩施設などが老朽化により撤去され、雑然とした雰囲気になっている場所もあるため、整備が望まれています。



ケーブルカー山麓駅

- 主な施設：ケーブルカー山麓駅、
駐車場
（114 台・大型 4 台）
福岡県立ふれあいの家



サクラ並木



駐車場

2. 利用者数

皿倉山の観光客数は年間約 40 万人が訪れており、ケーブルカーや登山ブームによる利用者がいます。スロープカー開設時の平成 20 年度をピークに 2 年間減少した観光客も 23 年度からの 2 年間は増加となっていますが、26 年度は若干の減少となっています。

世界遺産を見下ろせる絶景や他の観光施設など、更なる魅力を高めることで国内外からの観光客の増加が予想され、それに対応できる施設が必要になります。

皿倉山、ケーブルカー利用者のグラフ



3. 利用者アンケートの結果（観光客）

一般利用者の意見や要望の声を聴くため平成 27 年 10～11 月にケーブルカー山麓駅において、アンケート調査を実施しました。集計の結果（有効回答 120 人）、市内外から観光目的で訪れている来訪者が多くいたため、観光客へのアンケートとしています。

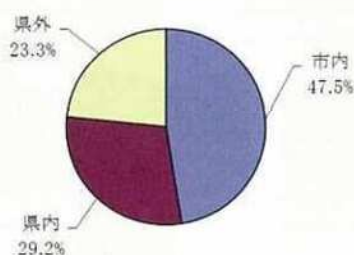
アンケート結果は以下のとおりです。

- 市内から訪れる人が 48% をしめており、主に家族、恋人、友人などの複数人で来訪しており、若年から年配までの幅広い年齢層の方が来ています。また、利用頻度としては「年に 1～2 回」「数年に 1 回程度」が過半数をしめています。

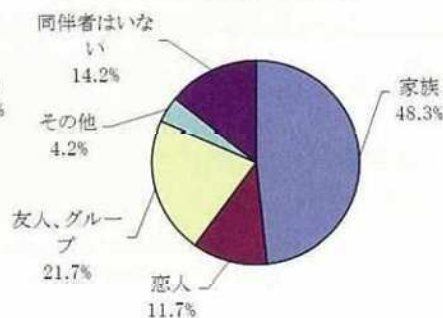
観光客の年齢層



どこから来ました



同伴者とその関係



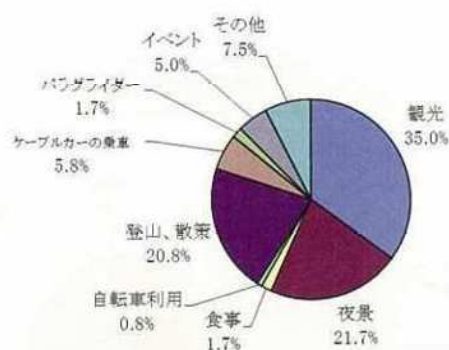
P10

どのくらい利用しますか

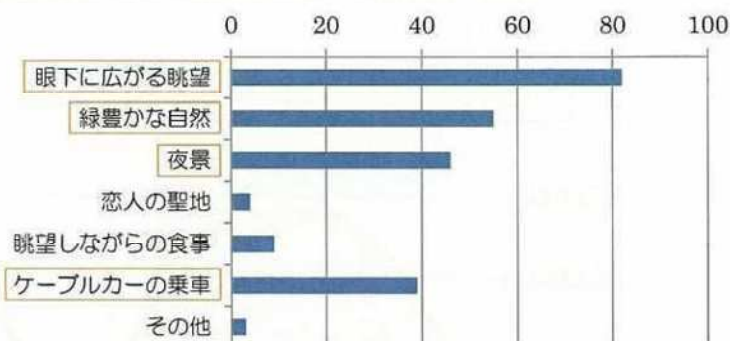


- 皿倉山への来訪目的は、観光と夜景の眺望が半数以上を占めています。また皿倉山の魅力は「眺望」が最も多く、「緑豊かな自然」、「夜景」、「ケーブルカー乗車」の順となっています。

利用目的はなんですか

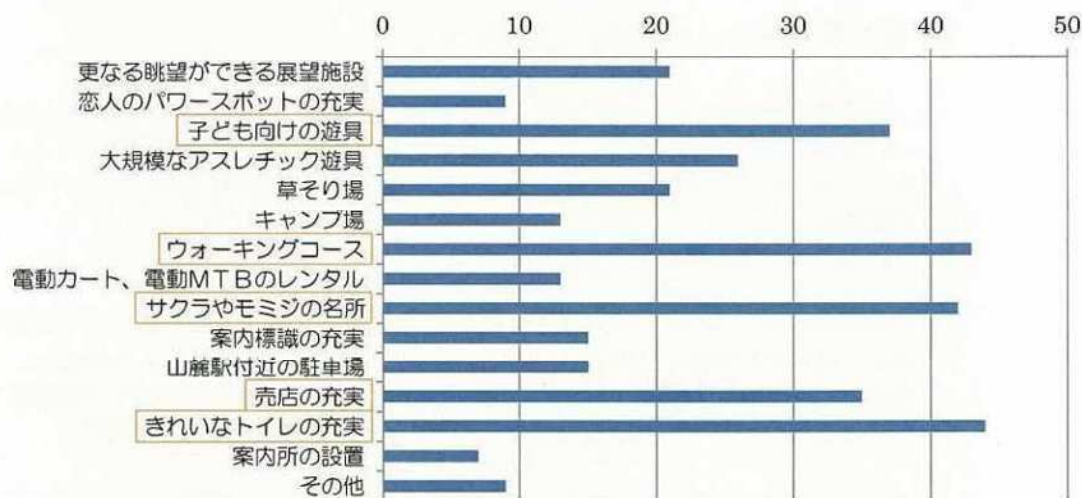


皿倉山の魅力はなんですか



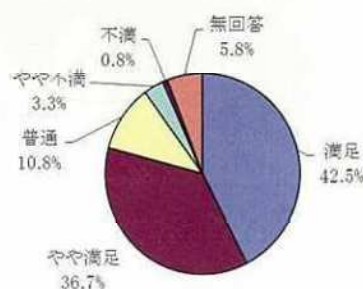
- あったらしいと思う施設では、「遊具」や「ウォーキングコース」、「モミジやリクラの名所」など、家族連れのレクリエーションや健康志向の向けの施設の充実、また「きれいなトイレの充実」が最も多く、老朽化したトイレの再整備や管理の充実が望まれています。
- また、ビジターセンター設置分も「ウォーキングコース」や「トイレの充実」であり、同等の結果が得られました。

あったらしいと思う施設は何ですか



- 皿倉山の来訪者の 80%が満足しており、「皿倉山に行けば楽しい」という、広報活動やPRなど情報発信を幅広く且つ効率的に行い、皿倉山を知ってもらうことで、観光客や家族連れの集客力アップにつながります。

皿倉山には満足していますか



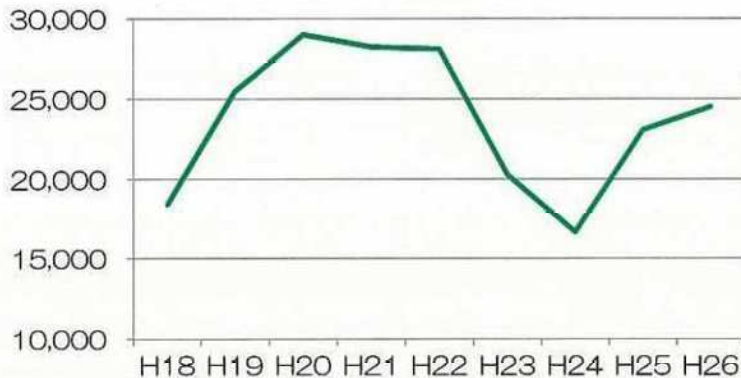
その他の要望意見

- ・ 小さな子供が遊ぶ場所やトイレが少ない。
- ・ 多国語の案内板や、樹名板をつけてほしい。
- ・ 美しい景観や自然を維持してほしい。
- ・ 皿倉山の広報を上手にすべき。
- ・ 連休や紅葉の時期などに備え、駐車場の数を増やしてほしい。

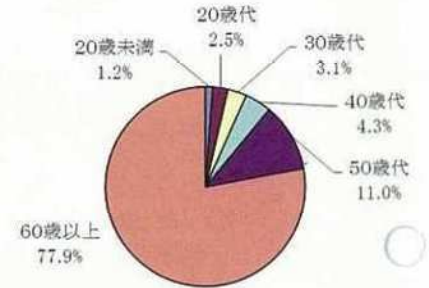
4. ビジターセンターの利用者の推移

平成 18 年に開業した皿倉山ビジターセンターは、年間約 2 万 3 千人が訪れており、主に登山者が多いです。平成 20 年度をピークに減少していた来館者も、25 年度からは登山ブームと健康づくりによる利用者が増えたことで上昇傾向となっています。

ビジターセンター来館者の推移



来館者の年齢層



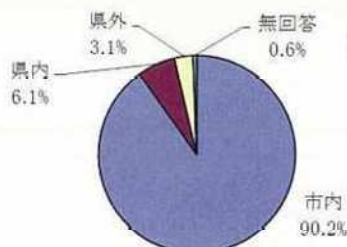
5. 利用者アンケートの結果（登山客）

一般利用者の意見や要望の声を聴くため平成 27 年 10～11 月にビジターセンターにおいて、アンケート調査を実施しました。集計の結果（有効回答 162 人）、市内から登山目的で訪れている来訪者が多くいたため、登山者へのアンケートとしています。

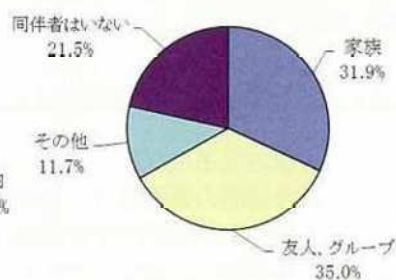
アンケート結果は以下のとおりです。

- 市内から訪れる人が 90%をしめており、主に家族や友人でのグループでの来館が多く、単独での利用も 20%を占めています。また、利用頻度としては幅広く、「週単位」、「月単位」、「年単位」と同等の割合を占めている一方で、初めての来館が 1%を切っておりビジターセンターの周知のため、PR 等の広報活動が必要です。

どこから来ました



同伴者とその関係

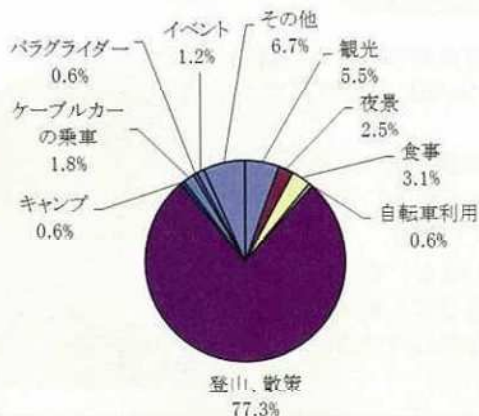


どのくらい利用しますか



- ビジターセンターへの来訪目的の 77%が登山となっており、近年の登山、健康ブームが追い風となっています。また皿倉山の魅力は「眺望」が最も多く、「緑豊かな自然」、「夜景」の順となっており、ケーブルカー山麓駅の結果と同じになっています。

利用目的はなんですか



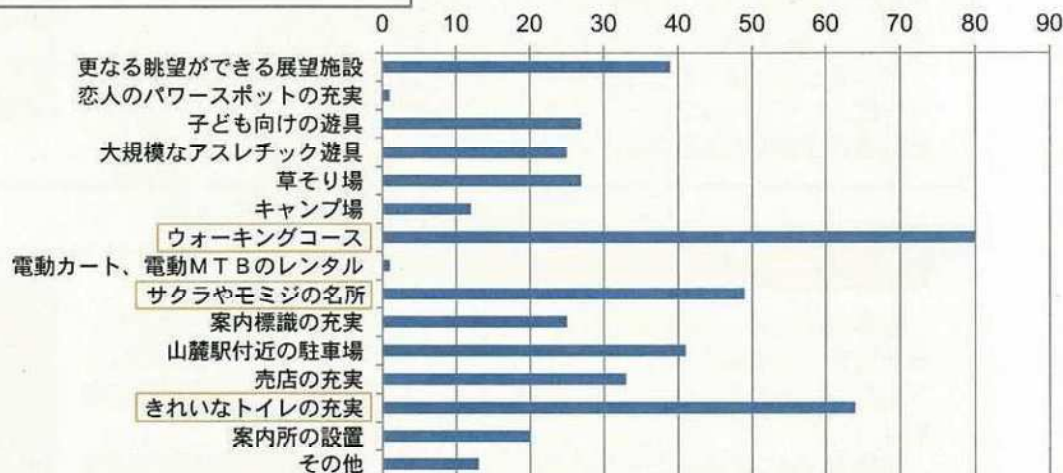
皿倉山の魅力はなんですか



- あったらしいなと思う施設では、「ウォーキングコース」、「モミジやサクラの名所」など、家族連れのレクリエーションや健康志向の向けの施設の充実、また「きれいなトイレの充実」も多く、老朽化したトイレの再整備や管理の充実が望まれています。

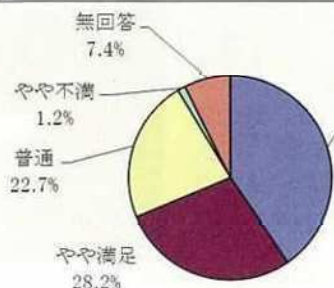
また、ケーブルカー山麓駅設置分も「ウォーキングコース」や「トイレの充実」であり、同等の結果が得られました。

あったらしいなと思う施設は何ですか



- 満足度では、来館者の約 70%が満足しており、近場で登山や適度な運動をするのに非常に適した山であることが窺えます。今後、「ウォーキングコース」や「トイレの充実」の整備をすることで、更なる満足度、集客力アップにつながります。

皿倉山には満足していますか



その他の要望意見

- ・ 森林植物園及び周回路（周遊路）の整備。
- ・ 案内標識をもっと詳しくしてほしい。
- ・ だんだん広場付近に各種の花々がほしい。
- ・ 貴重な自然をこの状態のまま後世に残していきたい。
- ・ 皿倉山のことをもっとPRしてほしい。

P13

6. 皿倉山をとりまく課題

皿倉山をとりまく課題は以下のとおりです。

皿倉山の絶景の更なる活用とシンボル性の創設

皿倉山から望む大パノラマは、日本を支えてきた産業都市を眼下に見渡せる、わが国有数の絶景です。その夜景は、新日本三大夜景に選ばれ、「100億ドルの夜景」と呼ばれています。

市街地に近接した大自然と間近に迫る皿倉山は、絶景を活かした遊び場など多世代に楽しむことができます。また多くの学校の校歌に登場するなどしており、郷土を思う際の市民のシンボルとなっています。

その一方で、来訪する頻度が数年に一度が最も多いなど、新鮮さにかけており、魅力が停滞している状況となっています。さらに、絶景を違った見せ方で楽しむことができる施設の充実など、新たな楽しみ方が求められています。



花などの自然の美しさや心地よい空間の充実

皿倉山の来訪者の主な目的としては眺望になります。利用する施設として、スイス製のケーブルカーとスロープカー、山頂展望台となっており、「他に見る所がない」という声も多くあります。山頂付近には帆柱森林植物園や雄大な自然樹林、キャンプ場等があるのですが、案内やPR不足のために利用者は少ないのが現状です。この様に、トータルイメージの形成不足や施設同士の結びつきが弱くなっています。

花木などの自然の美しさとふれあえる心地よい癒しの空間や、健康づくりの場としての充実など、街中に隣接した皿倉山ならではの自然を活かした見直しが必要となります。



魅力ある施設群の回遊性の向上

近年の登山ブームによる運動や健康増進、中高年のファミリー層がアクティビティを高める事を目的とした自然体験教室など、今後の利用者ニーズに合った魅力づくりと施設の連携を高めた回遊性の向上が必要となります。

皿倉山がもつ資源やニーズを捉えた整備、魅力のある施設群の連携や回遊性を高めた散策ルートの設定など、ハード面とソフト面の強化による集客力の向上が求められます。



アクセスの改善や駐車場の充実

皿倉山はJR八幡駅の正面にあり、駅から徒歩でくる来訪者も多く、途中に誘導標識が少ないため「分かりづらい」という声があります。登山道の入り口は多数に及ぶため、分かりやすい道案内が求められます。また、大型連休や紅葉時のシーズンには大勢の来訪者となり駐車場が満車になります。そのため駐車場にとめることができずに引き返す来訪者もいるため、駐車台数の拡大も求められています。



Ⅲ. テーマとコンセプト

1. テーマ

皿倉山は、眼下に見渡せる絶景と夜景、ケーブルカー、大自然、帆柱森林植物園、キャンプ場など魅力的な施設があり、大きなポテンシャルがあります。

皿倉山とその周辺において、新たな魅力づくりと一体的な観光地としての回遊性や情報発信力を高め、市民の健康づくりや癒しの場、ファミリーや子育て世代が楽しむアクティビティ、市外客の景勝エリアとして魅力の向上を図ることを目的とします。

事業の目的に基づき、皿倉山を魅力のある場所にするため、テーマを以下のように設定します。

テーマ

皿倉山の絶景と樹々に癒されるシンボルとなる空間づくり



2. コンセプト

<テーマ>

<コンセプト>

皿倉山の絶景と樹々に癒されるシンボルとなる空間づくり

「感動空間」の形成

皿倉山の絶景を活かした「感動空間」の形成

来訪者の主な目的でもある皿倉山の眺望は、響灘から関門海峡までの視野角 270 度を見渡せることができ、眼下には旧官営八幡製鐵所の世界文化遺産のあるエリアも一望することができる他にはない絶景となっています。

この絶景を活かした施設や遊び場を作ることによって、「感動空間の形成」をします。



展望デッキイメージ

「やすらぎ空間」の形成

花や紅葉、古代の樹々を楽しみ、癒される「やすらぎ空間」の形成

皿倉山は市街地から近い場所に緑豊かな自然を感じることができる山となっており、市内で最も標高が高いことから季節が最初に訪れることになります。

色とりどりの花や新緑、紅葉により四季を感じ、400 年前から存在する樹木から歴史を感じ、自然により癒される、「やすらぎ空間」を形成します。



権現山 皇后杉群

「ワクワク空間」の形成

自然の中で新たな発見や冒険心を誘う「ワクワク空間」の形成

皿倉山の大自然とふれあうことで新たな発見と探究心を養い、アスレチックやトレッキングの運動で冒険心が芽生え、体験学習やイベント等の催しをすることで「ワクワク空間」の形成をします。



体験学習やイベントのイメージ

アクセス対策

広域からの集客対策の向上を図る「駐車能力」の向上

大型連休や紅葉のシーズンには多くの自家用車が集中するため、駐車能力の向上を図ります

アクセスや回遊性の向上を図る「案内サイン」の充実

皿倉山までのアクセス向上につながる案内標識や、外国人観光客に対応する多言語でのサインの充実をします。



立体駐車場のイメージ



カラー舗装のイメージ

血倉山の認定される利用者のニーズに合わせて、それぞれの魅力となる眺望施設、自然と触れ、体験と学習、ケーブルカー・山麓駅がらみ温泉までのアクセス対策の4つのゾーンの設定を行います。



血倉山の目玉である「世界文化遺産」と「新日本三大夜景」が眼下に広がる眺望を、新たな視点から見せることで、北九州ならではの絶景を再発見！来訪者の感動空間を創出するエリアです。



四倉山の緑豊かな自然を活かしたエリアで、帆柱森林植物園から血倉山頂付近、権現山、クアールカール沿いを主に回遊性を高めた新たな魅力づくりを行っています。



ヒジターセンターと皿倉平を中心とし、皿倉山ならではの体験をすることで、来訪者の探究心や冒険心をくすぐるエリアです。



■倉山の玄関口としてケーブルカー・山麓駅前や周辺駐車場を
利用しやすいよう整備する「おもてなし」のエリアです。



JRハチノ宮駅周辺からケーブルカー山麓駅まで「行きやすい血倉山」にするために、アクセスの対策を図るエリアです。

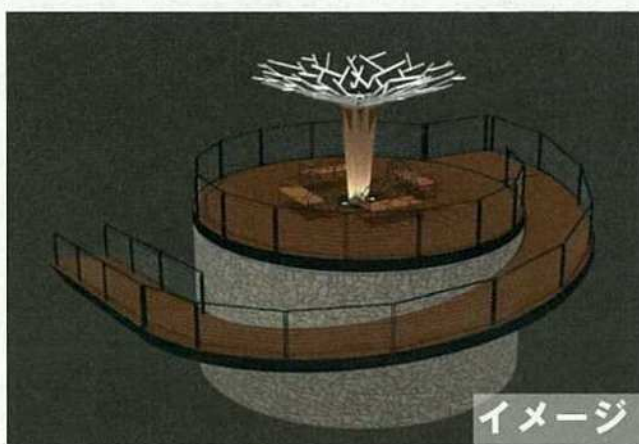


IV. 主な事業の内容

山頂付近エリア

事業1 天空ドームの改修

現在の天空ドームを改修します。眼下には 270 度のパノラマ眺望、見上げれば満天の星空が見えるシンボリックな空間として整備し、恋人たちにとって「思い出の場所」となるような感動する展望施設を設置します。



イメージ

天空ドームの改修



天空ドームのモニュメント

事業2 展望デッキの設置

山頂にあるパノラマ展望台の西側に、休憩ができる展望デッキを設置します。

デッキ上部はテーブルを配置し眺望しながら飲食をすることができ、デッキ下部はスタンド状にすることで座ったり寝そべったりしながら眺望を楽しめるなど、皿倉山の絶景を新たな視点で楽しむことができます。



イメージ

展望デッキ